

# 第3回 藤塚地区にぎわいづくり検討会資料

## 目次

1. 第2回検討会での意見と今後の方針（案） .....	1
2. ゾーニングイメージ図.....	2

令和4年9月8日

# 1. 第2回検討会での意見と今後の方針（案）

	自然と人とのつながりの再構築	震災記憶の継承	新たな賑わい・交流の創出
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特有の自然環境・海浜景観の再生や資源の利活用</li> <li>集い触れ合える自然環境・海浜景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波防災を啓発する海辺の防災モデルとなる公園づくり</li> <li>地域の歴史や文化・震災の記憶と経験を発信・継承する仕掛けづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流をつくる施設の整備と新たな機能の導入による賑わいづくり</li> <li>周辺施設との連携や回遊性の向上</li> </ul>
整備の方向性	湿地環境の保全／環境教育としての観察の場の活用／四阿等の自然環境・鑑賞施設の導入／海岸防災林の拡充整備／自然に触れ合える場の創出／植物の解説板の設置／湿地環境の再現	震災の記憶を伝え、安全・安心を確保する避難の丘の整備／藤塚の地形や地名の継承	サイクルステーション／親水護岸整備による回遊性の向上／交流スペースの設置／民間施設との動線の確保
かわまちづくり事業  検討会での意見と課題  公園整備事業	<div data-bbox="147 433 881 534" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             自然観察の拠点施設              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div> <div data-bbox="147 544 881 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             ネイチャーガイドによる自然観察ツアー              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div>		<div data-bbox="1827 433 2628 534" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             デッキ状の親水護岸              課題：-           </div> <div data-bbox="1827 544 2628 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             堤防上のベンチ              課題：事業費の確保           </div> <div data-bbox="1827 655 2628 756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             自転車を運べる舟での舟運              課題：舟やタラップの整備、水深の確保、漁業との時期調整           </div> <div data-bbox="1827 766 2628 866" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             オープンカフェ              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div> <div data-bbox="1827 876 2628 977" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             カヌー・ボートの格納庫              課題：整備を行う事業者の確保           </div>
		<div data-bbox="927 1008 1787 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             藤塚の地名を継承する案内板の設置              課題：-           </div> <div data-bbox="927 1118 1787 1219" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             神社の歴史を伝える解説板の設置              課題：-           </div>	<div data-bbox="1827 1008 2628 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             自由度の高い芝生広場              課題：-           </div> <div data-bbox="1827 1118 2628 1219" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             親水護岸までの遊歩道              課題：-           </div> <div data-bbox="1827 1229 2628 1330" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             仙台市道の拡幅              課題：公園内利用動線の位置づけ           </div> <div data-bbox="1827 1340 2628 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             護岸からアクアイグニスをつなぐトロッコ列車              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div> <div data-bbox="1827 1451 2628 1552" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             アクアイグニスと連携したキャンプ場              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div> <div data-bbox="1827 1562 2628 1663" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             公園内の噴水施設              課題：整備・運営を行う事業者の確保           </div>
今後の方針（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸防災林を公園北側部分に拡充する</li> <li>海岸防災林内に湿地環境を再現する</li> <li>藤塚地区の生き物観察ができる解説板等を整備する</li> <li>自然観察会、エコツアーリズムの場として活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤塚地区の歴史・文化を伝える解説板等を整備する</li> <li>公園内の広場等の施設を字名からネーミングする</li> <li>藤塚地区内の道路形状を保存する</li> <li>かつて藤塚地区で行われていたイベントを開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親水護岸までの園路を遊歩道として整備する</li> <li>親水護岸、浮桟橋を整備する</li> <li>オープンカフェ、サイクルステーションを設置する</li> <li>堤防上のベンチやカヌー、ボートの格納庫を設置する</li> <li>芝生広場やデイキャンプ場を整備する</li> <li>親水護岸とアクアイグニス間の移動手段を確保する</li> </ul>

## 2. ゾーニングイメージ図 (案)



**水辺交流ゾーン**  
舟運・エコツアー・サイクリングの拠点施設、親水護岸、オープンカフェ



**よすがゾーン**  
鎮守の杜、藤棚、神社等の解説板、市道形状の保存



**自然ふれあいゾーン**  
植物解説板の設置、藤棚、五感で楽しめる植栽



**にぎわいゾーン**  
ディキャンプ場、トロッコ列車、噴水施設、芝生広場



**自然観察ゾーン**  
アクセス路



**自然継承ゾーン**  
海岸防災林の拡充、湿地環境の再現



かわまちてらす 閣上

井土浦

- 鳥獣保護区（特別保護地区）：鳥獣の狩猟は不可、工作物の新築や水面の埋立には許可が必要
- 自然環境保全地域：上記規制のほか、動力船の使用にも許可が必要
- 日本の重要な湿地500に選出
- 津波により生態系が大きくかく乱。その後、底生動物や昆虫・植生も回復し、ハマシギ、シロチドリなどの野鳥も飛来している。

**配慮事項**

- 野鳥等の観察は貞山運河の西側から行き、東側には原則立ち入らない。
- 立ち入る際は、専門知識をもった人の指導をもとに観察会・エコツアー等を開催することが望ましい。



**東谷地**

- 鳥獣保護区：鳥獣の狩猟は不可
- 震災以前は一面にヨシ等の抽水植物が広がっていた
- 津波により植生が消失し、生態系が大きくかく乱。その後、干潟からヨシ原、樹林へと植生が遷移。干潟には多くの種類のカニが生息している。

**配慮事項**

- 野鳥等の観察は堤防上から行う。
- 水門の管理用階段から干潟へアクセスできることが望ましい。
- 干潟の利用の際は、専門知識をもった人の指導をもとに観察会・エコツアー等を開催することが望ましい。



カワラハンミョウ  
コウボウムギ  
ハマニンニク  
ハマボウフウ  
ハマニガナ  
ハマナス

カワラハンミョウ



ヨシ



オオヨシキリ  
ホオジロ  
カワウ  
ハヤブサ



干潟へのアクセス

出典：  
藤塚・井土浦マップ2016（せんだい生態系再生コンソーシアム）  
平吹喜彦氏（東北学院大学教養学部教授）および  
鈴木孝男氏（みちのくベントス研究所長）からの  
ヒアリングにより作成